

令和3年度進行管理・評価シート
甘楽町歴史的風致維持向上計画（平成22年3月30日認定）
（第2期 令和2年3月31日認定）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進に向けた庁内の連携体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観形成助成金の交付	2
2 景観計画の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的まちなみ調査事業	4
2 楽山園周辺道路美装化整備事業	5
3 織田公公園内林内整備事業	6
4 案内板・情報板等整備事業	7
5 無電柱化事業	8
6 雄川堰整備事業	9
7 桜並木保存整備事業	10
8 地域コミュニティ組織づくり事業	11
9 歴史まちづくり講習会事業	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・防災・防犯	13
2 文化財の普及・啓発	14
3 重点区域における伝統的建造物群保存 地区制度の導入に向けた取組み	15
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 甲冑まとい小幡巡る ちっちゃなさくら祭り ほか	16~20
⑥その他(様式1-6)		
1 施設整備後の活用と歴史文化啓発に 関する事業	21

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
計画推進に向けた庁内の連携体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	甘楽町歴史的風致維持向上計画推進会議及び同計画推進プロジェクトチーム、各事業者との連携を図りながら適切に計画を推進する。計画掲載事業の進捗状況の確認、評価を行い、定期的な報告、意見の聴取等を実施し、実効性を高めるとともに、必要に応じた計画変更を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建設課、産業課、企画課及び社会教育課からなる甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会・専門部会及び庁内各部署からの意見聴取により事業の進捗管理・評価について協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も各部署との連携・調整、庁内横断的な意見聴取による体制強化を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>組織体制(R2. 4)</p> <p>【企画課】 企画調整係:3名</p> <p>【建設課】 都市計画係:4名 建設係:3名</p> <p>【産業課】 商工観光係:4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係:3名</p> <p>【その他部局】 行政、財政担当ほか</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➔</div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>組織体制(R3. 4)</p> <p>【企画課】 企画調整係:3名</p> <p>【建設課】 都市計画係:4名 建設係:3名</p> <p>【産業課】 商工観光係:4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係:2名</p> <p>【その他部局】 行政、財政担当ほか</p> </div> </div>			

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
景観形成助成金の交付		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 当町では平成元年9月に「甘楽町ふるさと景観をまもり、そだて、つくる条例」を制定し、歴史と伝統の特色を活かした景観保存を住民とともに推進してきた。平成29年度からは、「甘楽町景観条例」に基づき、取り組みを推進している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「甘楽町景観条例」の規定によるふるさと景観の形成のための事業に対して、助成を行った。
 令和3年度 申請件数3件、助成額763,333円

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



■勘定奉行役宅高橋家庭園
 勘定奉行役宅高橋家の庭園を通年で観光客に無料開放を行い、中小路に面した歴史的建造物や庭園等の景観維持を図った。



■山田家の喰い違い郭
 大奥の庭園及び喰い違い郭を通年で観光客に無料開放を行い、中小路及び御殿前通りに面した歴史的遺構や庭園等の景観維持を図った。



■天引新屋地区の圓通閣
 圓通閣は古くから安産の神として地域住民の信仰を集めている観音堂である。維持管理を行っている仁井屋組住民の協力を得て建物の改修工事を行い天引地区の歴史的な建造物として景

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 当町は、平成元年9月に「甘楽町ふるさと景観をまもり、そだて、つくる条例」を制定し、都市景観の形成に努めてきた。また、平成22年9月に景観行政団体に移行し、平成23年3月には景観法に基づく景観計画を策定し、歴史的風致の維持及び向上に資する施策を講じている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町の景観に大きな影響を及ぼすと考えられる、一定規模以上の建築行為等を行う場合に、行為の着手前に計画内容に関する届出を行ってもらい、景観計画で定める「景観形成基準」に適合しているかどうかの審査を行っている。
 令和3年度 届出件数 4件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

※代表的な基準を以下に示します

区 分	基準の内容																																				
建築物の建築等/工作物の建設等	配置位置 主要な眺望点からの山並みや自然景観への眺望を阻害しない配置とすること。 周囲の町並み、家並み、田園等と調和するように配置すること。																																				
	形態意匠 高さの最高限度を20m(6階建て程度)とする。(ただし町長が認める場合はこの限りではない) 周辺の建物と統一感を持たせ、連続性のある町並み形成に努めること。 大面積に具象な絵柄や必然性のないデザイン、華美な装飾を施さないようにすること。																																				
	材質 経年変化で賑わいの増す自然素材(石、木材、レンガ等)を積極的に活用すること。 光沢のある材料や反射光の生じる素材を大部分にあたって使用することは避けること。																																				
	色彩 外観の色彩は以下のとおりとする。ただし、着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分の色彩、または見付面積の1/10未満の範囲内で外観のアクセント色として着色される部分の色彩についてはこの限りでない。																																				
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="3"><壁面(屋根以外)></th> <th colspan="3"><屋根></th> </tr> <tr> <th>色相</th> <th>彩度</th> <th>明度</th> <th>色相</th> <th>彩度</th> <th>明度</th> </tr> <tr> <td>R(赤)</td> <td>4.0以下</td> <td rowspan="4">8.0以下</td> <td>R(赤)~Y(黄)</td> <td>4.0以下</td> <td rowspan="4">8.0以下</td> </tr> <tr> <td>YR(黄赤)</td> <td>6.0以下</td> <td>YR(黄赤)</td> <td>6.0以下</td> </tr> <tr> <td>GY(黄緑)</td> <td>1.5未満</td> <td>GY(黄緑)</td> <td>2.0以下</td> </tr> <tr> <td>~RP(赤紫)</td> <td>1.5以上 2.0以下</td> <td>~RP(赤紫)</td> <td>2.0以下</td> </tr> <tr> <td>無彩色(N)</td> <td>—</td> <td>2.0以上 9.0以下</td> <td>無彩色(N)</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table>	<壁面(屋根以外)>			<屋根>			色相	彩度	明度	色相	彩度	明度	R(赤)	4.0以下	8.0以下	R(赤)~Y(黄)	4.0以下	8.0以下	YR(黄赤)	6.0以下	YR(黄赤)	6.0以下	GY(黄緑)	1.5未満	GY(黄緑)	2.0以下	~RP(赤紫)	1.5以上 2.0以下	~RP(赤紫)	2.0以下	無彩色(N)	—	2.0以上 9.0以下	無彩色(N)	—	
	<壁面(屋根以外)>			<屋根>																																	
色相	彩度	明度	色相	彩度	明度																																
R(赤)	4.0以下	8.0以下	R(赤)~Y(黄)	4.0以下	8.0以下																																
YR(黄赤)	6.0以下		YR(黄赤)	6.0以下																																	
GY(黄緑)	1.5未満		GY(黄緑)	2.0以下																																	
~RP(赤紫)	1.5以上 2.0以下		~RP(赤紫)	2.0以下																																	
無彩色(N)	—	2.0以上 9.0以下	無彩色(N)	—																																	
屋外設備等 屋外設備を設置する場合は、道路・鉄道からできるだけ見えない位置に設置すること、やむを得ず屋外設備等を見える場所に設置する場合は目立たないよう工夫すること。																																					
外構 駐車場等 敷地内では、地味の色調や植木や草花による緑化を図り、周辺環境の向上に努めること。 駐車場やサービスヤード、ごみ置き場等は、植栽などの工夫により、内観が道路側から目立たないようにすること。																																					
木竹の伐採 (林業に関わる行為以外) 木竹の伐採にあたっては、周辺景観への影響を配慮して検討を行うこと。 樹木の種類、樹齢、樹形等の蓄積を調査し、木竹の伐採を検討すること。																																					
土石の採取等における土地の形質の変更 土石の採取等については、道路等の公共空間から容易に望見できないよう掘削位置及び方法を工夫すること。 土石の採取後は、既存の植生又は周囲の植生、地域の自然植生と調和した緑化を行い、自然環境及び景観の復元に努めること。																																					
屋外における土砂・廃棄物・再生資源その他の物件の堆積 長年に経る土砂、廃棄物、再生資源等の堆積は行なわないこと。 堆積を行う場合、道路・鉄道から堆積物が見えないよう配置を工夫すること。それが困難な場合は、植栽や柵を設け、積み上げ高さを低く抑える等の配慮を行うこと。																																					

■甘楽町景観計画 景観形成基準

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史的まちなみ調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和6年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	甘楽町の雄川堰沿いの養蚕農家群を中心にまちなみの調査を行うことにより、町の歴史的なまちなみ保存が図られ、町の歴史的風致の維持及び向上に寄与することができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度、甘楽町歴史的風致維持向上計画(第2期)を作成するにあたり、重点地区内の調査・聞き取りを行ったため、令和2年度につづき令和3年度についても、実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致の維持・向上のため、今後も必要に応じ調査を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
楽山園周辺道路美装化整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(関連社会資本整備事業)		
計画に記載している内容	当該道路は、当町の歴史的風致の拠点となる楽山園へのアクセス路となり、歴史的建造物が存在するまちなみのなかを通っている。 道路の美装化を行うことにより景観性や回遊性が高まり歴史的資源を繋ぐネットワークの向上が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、県道から楽山園へ伸びる御殿前通りの歩道整備(真砂土舗装)を行い、景観性及び安全性の向上に繋がった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も必要に応じて道路の美装化を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
■ 整備前の状況(御殿前通り)		■ 整備後の状況(御殿前通り)	

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
織田公公園内林内整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	織田氏七代の墓は、城下町小幡の歴史やまちの成り立ちを知るうえで重要な場所であり、1期計画においては当該エリアを「織田公公園」として公園整備を実施した。2期計画においては、整備された織田公公園内の林内整備を実施することにより、良好な景観形成が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
織田公公園へ続く階段の修景整備をしたことで良好な景観形成が図られた。 令和3年度 階段修景整備 N=23段			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<p>■整備前の状況</p> <p style="text-align: center;">↓</p>			
			
<p>■整備後の状況</p>			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
案内板・情報板等整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業・街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物の周辺等、重点区域の主要な地点に案内板や情報板を設置することにより、住民や来訪者が建造物への理解を深めることができるとともに、散策ルートの設定等と併せ、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークの形成が図られる。このことにより多くの人が甘楽町の歴史的風致に対する認識を深め、歴史的風致の維持向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度については、事業の進捗状況等を考慮し、実施を見送った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		必要に応じ、案内板の整備を今後も進めていく	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
無電柱化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成31年度～令和6年度		
支援事業名	防災・安全交付金		
計画に記載している内容	小幡上町・下町沿いの県道下高尾小幡線の電線類を地中化することにより、歴史的まちなみを残している雄川堰沿いの景観を保全し、往来する人々の回遊性が図られる。また、災害時における電柱倒壊の恐れがなくなるなど、防災面でも有効な事業となる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
隣接する県道と併せて事業を進める方針のため、富岡土木事務所と協議を行っている段階である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元関係者の理解と協力が不可欠であるため、住民との協議も併せて進めていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
雄川堰整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和3年度		
支援事業名	農山漁村地域整備交付金(地域用水環境整備事業)(大堰) 小規模農村整備事業(小堰)		
計画に記載している内容	小幡のまちに網目状に張り巡らされている雄川堰(大堰及び小堰)は、小幡地区の歴史的風致の中核をなすものであるが、調査を行った結果、洗い場などで石積みが崩れている箇所が複数確認された。1期計画より引き続き、補修が必要な箇所の石積みの整備工事を行うことで、雄川堰の保存・活用が推進される。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和2年度に続き、重点区域内の雄川堰及び木柵の修繕を行い、景観の維持に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
■事業着手前		■整備後	
			
■事業着手前		■整備後	

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
桜並木保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和6年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	桜並木は雄川堰沿いに500mにわたり昭和40年ごろに植栽され、現在樹齢60年程を迎えている。県内でも有数の桜の名所となっており、町の観光のシンボルとなっている。これまで適正な維持管理ができておらず、害虫や菌類に侵食されている木もあり、朽ちる恐れがあるため、保存整備が急務となっており、保存整備により今後の景観形成の維持及び向上が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
枝の剪定、消毒作業のほか桜の苗木の植樹を行った。 N=15本			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
■植樹した桜の苗木			
			
■赤リボンによる消毒作業			

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
地域コミュニティ組織づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和11年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成23年度～平成26年度)、 町単独事業(平成27年度～令和11年度)		
計画に記載している内容	小幡地域において、行事やイベントなどの実行委員会を組織する中核的な地域コミュニティ組織を育成、向上のためのワークショップ等を開催していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	開催方法や検討内容等について、協議が必要。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり講習会事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～令和11年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成23年度～平成26年度)、 町単独事業(平成27年度～令和11年度)		
計画に記載している内容	住民を対象に町の文化財及び歴史等について講習会等を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
甘楽町の文化や歴史について学ぶ「町民文化講座」を開催した。 第一講座 令和3年9月29日(水) 参加者8名 第二講座 令和3年10月27日(水) 参加者25名 第三講座 令和3年11月17日(水) 参加者17名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
<p>■第二回講座の様子(名勝楽山園内)</p>			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況

文化財の保存・防災・防犯

- 実施済
- 実施中
- 未着手

文化財は、当町の歴史や文化を正しく理解するために必要なものであるとともに、地域の歴史や文化を発信するための貴重な資源である。このため、文化財を適切に保存しつつ、活用を図ることは重要なことであるため、積極的に推進する。
甘楽町防災計画や総合計画を基本に、防災・防犯体制を整えるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「国指定名勝楽山園消防計画」を策定(平成26年6月5日)したほか、消防団による文化財周辺の水利点検や夜間の警戒巡視による予防消防に努めると共に、有事の際に備えた地域防災訓練を町内で実施している。文化財近隣においては、自治会住民による消防援助隊も組織されており、地域全体で文化財を保存していく活動を通して住民意識の向上が図られた。その他、町では(毎年)1月26日の文化財防火デーに合わせて、文化財に関わる職員の防火訓練を実施し、防災意識の向上を図っている。また、地域で保存管理する重要無形民俗文化財の修繕、新調などの支援により、文化財の保護・継承にも成果を上げた。

文化財を保管している主要施設については警備会社により厳重に管理し、職員との緊急の連絡体制も築いている。また、職員による定期的な見回りを実施し、文化財やその周辺状況を確認するとともに、所有者へも管理に対する注意喚起を行い、防犯意識の向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし

状況を示す写真や資料等



■未指定の無形民俗文化財支援事業(令和3年10月)
「甘楽町第2区 城町山車祭り用品の整備」



■防火訓練(令和4年1月26日) / 名勝楽山園にて
消火器具の使用法講習を受け、訓練に当たる施設職員。



■名勝楽山園拾九間長屋草棟(くれぐし)修繕(令和4年3月28日)
国指定名勝楽山園保存管理計画に基づき、老朽化が見受けられた箇所を修繕を実施した。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の普及・啓発		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

現在、ほとんどの指定文化財には、広く文化財に対する理解を得るため説明板を設置している。また、『甘楽町の文化財』などの啓発的な冊子を頒布して住民への周知を図っている。一般公開されていない指定文化財は、所有者と協議し、期間限定で公開するなどの従来行っていなかった方法を模索し活用を進めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の財産である文化財を住民とともに守り継承するため住民ボランティアを募集し、研修を通じて啓発に努めた。文化財の活用については、文化財ボランティア組織等と協力して名勝楽山園にて春の茶会を実施し、文化財の積極的な利活用を図った。また、町指定文化財標柱を新たに設置し、文化財のさらなる周知を図った。さらに、日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」を活用した普及啓発事業として、座繰り・繭クラフト作り体験を開催し、町内小学校へも出前講座を行うことで町の歴史や文化に触れられる機会づくりを進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

なし

状況を示す写真や資料等



■名勝楽山園開園十周年記念「春の茶会」

文化財ボランティア組織等と協力し、新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小して開催。

令和4年3月21日 参加者数 60人



■町指定史跡「峰城址」標柱設置

町指定文化財標柱設置工事を実施した。

令和4年3月



■「座繰り・繭クラフト作り体験」町内小学校出前講座

日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」を活用した普及啓発事業として、町内小学校で開催

令和4年1月17日 参加者 35人

※(予定していた他2校は、群馬県まん延防止等重点措置発令につき中止となった)

■「座繰り・繭クラフト作り体験」

道の駅甘楽 松井家住宅にて開催

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
重点区域における伝統的建造物群保存地区制度の導入に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	小幡・町屋地区の伝統的建造物が連なるところについては、早急に伝統的建造物群調査を行い、作成される保存計画に基づき、各種事業を導入し、計画的に保存を進めるものとする。同時に町独自の補助制度等を制定し、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内においては、若い世代でも町屋地区の景観を形成する養蚕農家を修繕して残していきたい考えをもっており、ごく小規模な修繕であるが、景観に配慮した修復を自費で行った事例も見受けられた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当初調査からの時間経過も考慮しながら、まち並み、建物の現地再調査などを行う必要があり、関係機関の指導のもと住民が主体となった体制を構築したうえで推進していかなければならない。地元代表者との打合せ、協議を行ったが、時間と慎重を要する面があり、当該地区における無電柱化や広告類などの景観整備、中央を北流する雄川堰の石積みや架橋の保存改修整備などを含め、地域住民との対話を基調として取り組んでいく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
甲冑まとい小幡巡る ちっちゃなさくら祭り	R3.4.7	上毛新聞
庭園楽しみ茶味わう 楽山園	R3.4.11	上毛新聞
郷土のお宝「旧小幡組製系レンガ造り倉庫」	R3.4.19	朝日ぐんま
ピンク色華やか 楽山園のスイレン	R3.6.6	上毛新聞
ムウラサキシキブ秋風に実揺れる 楽山園	R3.10.8	上毛新聞
古墳カード12カ所追加(群馬県指定史跡 笹森古墳含む)	R3.10.8	上毛新聞
前橋、高崎、甘楽 3市町に会長賞 高崎で都市計画全国大会	R3.10.29	上毛新聞
しめ縄贈り息災願う	R3.12.7	上毛新聞
甘楽の雛祭り	R4.2.25	朝日ぐんま
樹齢180年の生命力 甘楽・楽山園 ウメ見頃	R4.3.3	上毛新聞
「御殿飾り」きらびやか 旧二中などにひな人形1500体	R4.3.6	上毛新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存と活用、歴史まちづくり事業のアナウンスに関しては、報道による周知が効果的であるため積極的に情報発信した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

積極的に情報発信したことにより、報道等で取り上げられ歴史的風致に興味を持つ来訪者が増えた。今後は、観光案内ボランティア等の受け入れ態勢の強化・資質の向上を図るとともに必要に応じて研修会等を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



■ 令和3年4月7日 上毛新聞



■ 令和3年4月11日 上毛新聞

全県版 朝日新聞 姉妹紙

繭や生糸の保管庫 養蚕最盛期を象徴

郷土のお宝
興内の歴史ミュージアム担当者が地域の貴重な資料をご紹介します

甘楽町歴史民俗資料館の建物は、この地域の養蚕業が最も盛んであった1926年1月25日に甘楽社小幡組製糸工場の倉庫として、農家が生産した繭や生糸を保管するため建設されました。甘楽社小幡組は、明治維新以降、生糸の輸出が増大するにつれて品質の統一と向上が要求された中で、収益の増大を図るために設立された組合制による揚げ返し工場です。近代資料として貴重なレンガ造り2階建てで、延べ床面積は289平方メートル。建設当時のモダンズムを表している赤レンガや入口横に付んでいる「かかろ天下像」など、内観だけでなく外観にも見どころがたくさんあります。

その後、農業会、農業協同組合に引き継がれ、穀物や肥料などの倉庫として使われていました。が、84年に町が買い受け、翌年に文化庁の指導による歴史民俗資料館としてオープンしました。

1階は、富岡製糸場絵馬(町指定重要文化財)や座繰り機、蚕繭など養蚕・製糸・織物に関する道具や資料333点。2階は、室町時代後半にこの地を支配していた小幡氏の紋付赤備具足(町指定重文)をはじめ、織田信雄自筆の書状(同)、79年に町内の小幡八幡宮で発見された3体の円空の木彫仏像など約170点を展示しています。

レンガを積み重ねた重厚な壁や瓦屋根の建物は、養蚕最盛期であった当時の象徴としてその姿を良くとどめており、町の重要文化財に指定されています。また、近代化産業遺産(経済産業省)、県知事が「たからもの」として登録した絹の遺産「ぐんま絹遺産」にも登録されました。

さらにこの建物は、展示している資料や近くの「甘楽社小幡組由来碑」(丁A甘楽富岡甘楽支所内)とともに、日本遺産「かかろ天下!ぐんまの絹物語」の構成文化財としても認定されています。同碑には「邑ニ養蚕セザルノ家ナク製糸セザルノ婦ナシ」(村に養蚕をしていない家は無く、製糸をしていない女性はいない)と刻まれています。ことから、この地域では絹産業が非常に盛んだったこと、また、地元的女性たちが活躍し、絹産業を支えていたことがうかがえます。

甘楽町歴史民俗資料館
甘楽町教育委員会社会教育課文化財保護係主事 山田 勇人

大正15年に建設されたレンガ造り倉庫
庫町指定重要文化財

史料即 養蚕業 17
甘楽町 甘楽 552-1
電話 0274-74-5957
月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)休館 / 午前9時～午後4時30分 / 入館料 高校生以上200円、中学生以下無料

やまだ はやと / 1991年、甘楽町生まれ。2015年高崎経済大学卒業。17年から甘楽町役場職員。建設課を経て20年より現職

令和3年4月19日 朝日ぐんま

ピンク色華やか
楽山園のスイレン

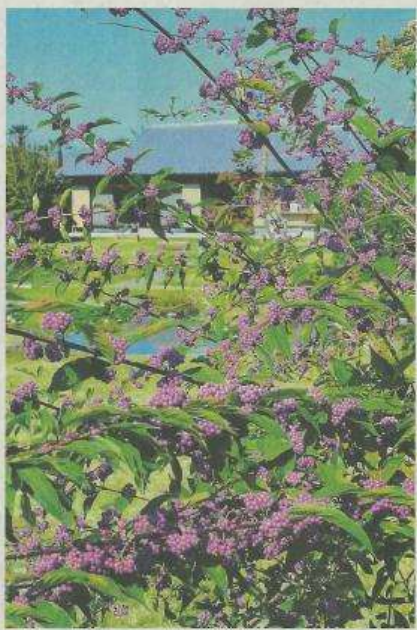
国指定名勝の楽山園(甘楽町小幡)でスイレンが見頃を迎え、気品を備えたピンクの花が水面を華やかに彩っている「写真」。

園内にある「泉水」と呼ばれる池の上で、美しい花を咲かせている。池は2012年の開園に合わせて整備され、スイレンもその頃からあったという。当時は水面の一部にとどまっていたスイレンの葉だが、今では池を覆うほどに。6月中は見頃が続く。(細井啓三)



令和3年6月6日 上毛新聞

■ 令和3年10月8日 上毛新聞



甘楽 園遊会を勝「楽」として知られる。果実の色合いと、見た目の優雅さから平安時代の歌人、紫式部に由来して名付けられたとされている。

ムラサキシキブ 秋風に実揺れる

園内の休憩所前にある池「泉水」周辺では、2012年の開園に合わせて植えられたという樹高1〜2層の4本が見守りか、気持ち良さそうに揺れている。写真は、ムラサキシキブは、秋に光沢のある美しい実を付ける觀賞用の落葉低木

園内によると、今月中は見頃が続くとされている。観覧料は高校生以上300円。

(細井啓三)

古墳カード12カ所追加

あすから無料配布
スタンプラリーも

県は7日、県内12の古墳を新たに選び、各々種類計24枚のまんま古墳カードを製作し、県内11カ所を計2万4千枚を9日から無料配布すると発表した。2019年から続く取り組みで、今回が第3弾となる。カードで紹介されている古墳の数は計36になった。

東日本最大の古墳大国である本県をアピールすることともに、県内各地にある古墳や博物館への周遊を促す。今回は前橋八幡山古墳(前橋市)や奈良古墳群(沼田市)などを選定し、各千枚を用意している。なくなり次第、配布は終了する。カードはそれぞれの古墳近隣の博物館などで配布する。古墳まで足を運ぶのが難しい一部を除き、自身が古墳と一緒に納まった写真を見せると入手できる。配布場所は県ホームページで確認できる。

スタンプラリーも同時に開催する。12古墳全てを巡つてスタンプを集め、県に応募すると先着500人にカードホルダーをプレゼントする。台紙は県のホームページやカード配布場所です。

問い合わせは県文化振興課(027・226・2555)へ。

(高野誠也)

配布されるカードとカードホルダー

■ 令和3年10月8日 上毛新聞

本大雅（前橋桃瀬小）

前橋、高崎、甘楽 3市町に会長賞

高崎で都市計画全国大会

都市開発の先進事例はビデオメッセージで学ぶ第3回都市計画「働く場所や暮らす場所へのニーズが変わった」が28日、高崎市のGメッセ群馬で開催された。新型コロナウイルス感染予防のため、大会はオンラインで配信し、視聴した行政関係者ら約450人が講師や講演を通じて知見を深めた。

同協会の原田保夫会長は「コロナ禍は人々の行動様式を大きく変化した。都市計画への対応は不可欠」とあいさつ。山本一太知事

町が受賞した。前橋市はJR前橋駅北口の再開発で住民が連携して開発に取り組んでいる点、高崎市はJR高崎駅周辺で高崎芸術劇場など大規模施設を整備し、回遊性を高めた点、甘楽町は楽山園など歴史的資産の活用がそれぞれ評価された。

続いて、国土交通省の望月一範大臣官房審議官が都市計画を巡る最近の動向を報告した。明治六の野沢千絵教授は「ポストコロナ

の都市政策」と題して記念講演し、「コロナ下で都市と地方の二重拠点という住み方、転職を伴わない転居が増えた」と語った。（平山舞）

ウオーク&ラン参加者を募集
あす伊勢崎

伊勢崎青年会議所（矢島敏也理事長）は30日、伊勢崎市の伊勢崎オートレース場駐車

オンラインで
移住相談対応
あすから県
県内への移住を促進しようと、県は30日、11月5日、「2021オールけんまオンライン移住相談ウィーク」と題し、テレワーク笑

講演する野沢教授



令和3年10月29日 上毛新聞

しめ縄贈り息災願う

奈良・池之側さん、町に

甘楽 奈良県葛城市で正月飾りなどのわら細工を作っている池之側輝男さん（89）が先月、甘楽町にしめ縄を寄付した二写真。

しめ縄は町内にある国指定名勝「楽山園」の門に取り付けられた。寸法は幅約3枚、高さ50センチほど。中央には紙垂のほか、

表に「笑門」、裏に「七福即生」などと書かれた木製の札が付いている。

池之側さんは、「新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、町民の方々が無事正月を迎えられることを願って寄付した」とコメント。受け取った茂原荘一町長は、「正月を前に来場者に福を得てもらい、観光を楽しんでもらえたら」と感謝した。（黒沢豊）



令和3年12月7日 上毛新聞

◆甘楽の雛祭り 4月10日まで、甘楽町各所＝メイン会場の旧甘楽第二中学校に約1500体のひな人形を展示するほか、旧小幡藩武家屋敷松浦氏屋敷、町歴史民俗資料館（要入館料）、国指定名勝楽山園（要入園料）でもひな人形の展示を行う。午前9～午後4時。文化財保護係（0274-64-8324）。



■ 令和4年2月25日 朝日ぐんま

した状況を受け、21年6月に銃刀法が改正された。所持が認められるのは競艇目的（標的射撃）などに限られ、それ以外は廃棄するか、適法に所持できる人に譲り渡す。既に所持している場合、施行から半年以内に適切に対応しないと不法所持となり、3年以下の懲役または50万円以下の罰金に処罰される。

減少。運転手の退職も後継者を絶えず、1617人から1404人に減った。毎月1000人以上が退職している。これによって、業務が停滞する恐れがある」と強調。「このままでは資金繰りが困難となる」とも指摘している。

樹齢180年の生命力
甘楽・楽山園 ウメ見頃
国指定名勝の楽山園（甘楽町小幡）にある樹齢180年とされるウメの花が見頃を迎えている。西上州の山並みと早春の青空を背に、生命力あふれる白い花が咲き誇っている＝写真。樹高は約10mで、東西10mにわたって勢いよく枝を伸ばしている。江戸時代末期に植樹されたという。1991年に町指定天然記念物に登録された。園を管理する町教委によると、今月中旬には周囲の赤いウメの花との共演が楽しめる。担当者は「高台にある『梅の茶屋』からの眺めは絶景」と話している。午前9時～午後5時。観覧料は高校生以上300円。問い合わせは同園（☎0274・74・4795）へ。（写真 新井諭、文 細井啓三）



■ 令和4年3月3日 上毛新聞

「御殿飾り」きらびやか
甘楽 明治から平成までの約1500体のひな人形を紹介する「甘楽の雛祭り」が、旧甘楽一中は統廃合で2006年に閉校した。ひな飾りは各校室に展示され、どこか懐かしい雰囲気に。
二中などにひな人形1500体
この会場の開場時間は午前9時～午後4時で、入場無料。ほかにも町歴史民俗資料館、楽山園、松浦氏屋敷に飾られている。問い合わせは町教委社会教育課（☎0274-64-6400）（4）へ。（細井啓三）



■ 令和4年3月6日 上毛新聞

評価軸⑥-1
その他

項目 評価対象年度 令和3年度

施設整備後の活用と歴史文化啓発に関する事業

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的・形成建造物をはじめとする施設整備・活用と「キラッとかんら観光キャンペーン」をはじめとする歴史・文化を基調としたイベント開催で来訪者数・施設利用者数も増加しており、甘楽町の魅力発信による認知度向上に寄与している。また、施設管理やイベントの実施における、ボランティア等の協力者数が増加している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

観光キャンペーンや各イベント実施にあたっては、住民や来訪者の声を反映させたものとしていく必要があり、意見徴収を継続して行っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



■雛人形展(令和4年2月26日~4月10日)



■昭和中期の町並み写真展
(歴史的風致形成建造物「有賀茶店蔵」)



■「楽山園友の会」(H24.7結成)ボランティア清掃